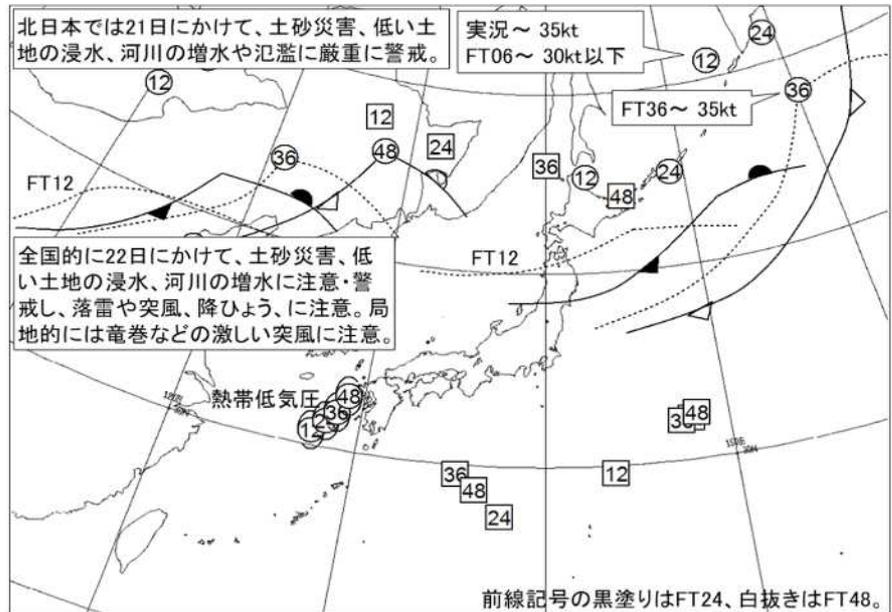


1. 実況上の着目点

① オホーツク海に低気圧が
あって、東北東進。前線が北日
本～華北にのびている。また、
500hPa5700m付近の-12℃以下の
寒気を伴ったトラフに対応し、
低気圧が日本海北部にあって、
東進。前線や低気圧に向かう下
層暖湿気と上空寒気の影響で、
北日本では雷を検知し非常に激
しい雨を解析。土砂災害警戒情
報を発表している所がある。

② 高気圧が日本の東にあって、
ほとんど停滞。本州付近は広く
晴れており気温が上昇、猛暑日
となっている所がある。また、

熱帯低気圧が東シナ海にあって、北東進。気温の上昇と高気圧縁辺及び熱帯低気圧東側の下層暖湿気の影響で、局地的に雷を検知し非常に激しい雨を解析。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

① 1項①のオホーツク海の低気圧は、21日朝にはカムチャツカ半島付近へ進み、前線は21日にかけて北日本をゆっくり南下する。500hPaのトラフは21日にかけて北日本を通過し、日本海北部の低気圧は、21日朝には千島近海へ進む。また、500hPa5760m付近のトラフに対応し、前線を伴った低気圧が22日には沿海州付近に進む。前線や低気圧に向かう下層暖湿気、上空寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴った非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。北日本では21日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に嚴重に警戒。特に、東北地方では20日夜遅くから21日未明にかけて、対流雲が組織化して降水が強まるおそれがある。22日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒、落雷や突風、降ひょうに注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。

② 1項②の高気圧は、22日にかけて日本の東付近にほとんど停滞。また、日本の南にも21日朝までに高気圧が顕在化する。西～北日本は22日にかけて、これらの高気圧に覆われ晴れて気温が上昇し、猛暑日となる所がある。熱中症などの健康管理に注意（熱中症警戒アラート参照）。気温の上昇と高気圧縁辺の下層暖湿気や上空寒気の影響、西日本では1項②の熱帯低気圧の東側の下層暖湿気の影響が加わり、雷を伴い激しい雨や非常に激しい雨が降り大雨となる所がある。南西諸島と西～東日本では22日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷や突風、降ひょうに注意。局地的には竜巻などの激しい突風に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】① 雨量(18時からの24時間)：東北180、北海道・関東甲信100mm。

② 波浪(明日まで)：高い所(3m以上)はない。

③ 高潮(明日まで)：大潮の時期。西～北日本では、注意報基準を超過する所がある。

5. 全般気象情報発表の有無 「大雨と雷及び突風に関する全般気象情報」を17時頃発表する予定。